

伊唐の風

～海とひと ころろ響きあう 伊唐っ子～

令和5年度



長島町立伊唐小学校

令和6年2月10日

変わるものと変わらないもの

校長 松本 浩輔

♪空をこえて ラララ 星のかなた～♪

心やさし ラララ～♪

この歌が流れてくると小学生のころ、わくわくしながらテレビ放送を見ていたことを思い出します。鉄腕アトムの誕生日が2003年4月7日。私が子供の時代、21世紀は、まさに漫画の中の世界が当たり前になっているのではと夢を膨らませていました。

2000年に入り、テレビコマーシャルの中で二足歩行型ロボットが出てきたのを見て、いよいよ漫画の中の世界が本当のことになってきたんだと思うことでした。グローバル化の進展や絶え間ない技術革新により、社会は急速に変化していきます。仮想空間の中で、買い物ができたりいろいろなことを家にいながらにして体験したりすることができているのです。

こうした変化の一つとして、人工知能(AI)の飛躍的な進化を挙げることができます。最近、「生成AI」という言葉をよく聞くようになりました。生成AIとは、学習したデータを基に、新しい情報を作り出すことができる人工知能システムの一つで、「プロンプト」と呼ばれる使い手の指示文に沿って、文章や画像、音楽などを創造することができます。

人工知能AIのもつ可能性は、急速に私たちの生活の中に入ってきています。最近ではAI搭載の冷蔵庫や洗濯機、エアコンなどの家電製品に普及されています。AI搭載のドリルでは、どこでつまづいているのかを判断し、そのつまづきを克服するために、その子にあった問題を選択していくものもあります。これから人工知能が自ら知識を概念的に理解し、思考し始めるといわれています。しかし、人工知能がどれだけ進化したとしても、一から物事を考えることは「人間の強み」であると考えます。

「いろいろなことを考え想像すること」「人と人との関わりの中で成長すること」伊唐小学校の子供たち14人は、この1年間体験活動を通して、心も身体も大きく成長をしています。

子供たちに「考えさせ、まかせてみる」この経験を生かして成長へとつなげていくことが、これからの社会を生き抜いていくために必要な力となってきます。

「海とひと

ころろ響きあう伊唐っ子」

伊唐小学校の特色を存分に生かして、一人一人が輝く教育を推進していきます。「子供との心のふれ合いの場がしっかりと確立できる」ことが伊唐小学校の強みでもあります。

3学期も残りわずかとなってきました。子供たちへの声かけをよろしくお願いします。



1月23日に、「鯨王を用いた学校料理教室」を実施しました。教室は、東町漁業協同組合養殖業者会の方々が、地産地消の促進、魚食の普及を目的として、生産量日本一を誇るブランドの「鯨王」を使用し開かれるものです。

当日子供たちは、養殖業者会の方から鯨の捌き方や調理の仕方について学び、とても充実した体験をすることができました。

「野球しようぜ!」のメッセージと共に大谷翔平選手から寄贈されたグローブが伊唐小学校にも届きました。子供たち全員で実際にグローブを触って感動を分かち合いました。これから大切に使い、野球に親しんでいきます。



2月の行事予定表

- 15日 新1年生入学説明会
- 19日 教育相談(児童)～21日
- 27日 授業参観・学級PTA・学校運営協議会
- 29日 避難訓練(津波)

3月の行事予定表

- 1日 6年生を送る会 お別れ遠足
- 7日 貯金日
- 9日 土曜授業
- 12日 バイキング給食
- 19日 全校給食
PTA新旧三役会
伊唐保育園卒園式
- 22日 卒業式
- 23日 修了式
- 24日 離任式
PTA送別会
- 29日 出発式

生活目標:学校内をきれいにしよう
保健目標:健康生活の反省をしよう



長島の子表彰式で、六年馬場颯汰さんが代表あいさつ「長島への思いや決意」を発表しました。

「花咲き誇る色とりどりに笑顔があふれるこのまち長島」

ぼくは、長島の自然が大好きです。きらきら輝く海や優しく育てられた花々を見ると心が落ち着きます。町で会うと声をかけてくださる長島の温かな人たちに見守られて、ぼくはこまごま大きくなりました。

ぼくの伊唐小での六年間はとてもいい毎日でした。それは、他の学年の友達と一緒に学んだり、たくさん遊んだりしたからです。

去年までは、上学年の友達が優しく声をかけてくれて様々な場面でたくさん助けてくれました。だから、六年生になった四月、今まで上学年の友達にしてもらったことを自分もしていこうと思いいい声かけをしよう。」と決意しました。

しかし、初めの頃は、勇気が出ず、声をかけられませんでした。だから、毎日のコミュニケーションを大事にして日頃から話しかけるようにしました。すると、困っている時の声かけや提案ができるようになりました。これからは友達とよく会話し、思いやりをもった声かけを大切にしたいです。

町長あいさつ「子供に夢を与えたい。」という一文から、今回の長島の子表彰をして下さっていると感じました。町長に見つけていただいたぼくの上を、これからは伸ばしていきたいと思えます。そして、ぼくを育ててくれた長島にいつか恩返しができるようにこれからも頑張りたいと思います。



2月7日、「伊唐ばれいしょマラソン大会」があり、子供たち全員が高低差の激しい1.5kmから3kmのコースを走り抜きました。子供たちはこの日のために、朝の体力づくりや体育の授業で走り込みをしてきました。

マラソンは、走る中で自分の心と体の限界と向き合うスポーツです。子供たちは、練習の時から幾度となくその経験を乗り越えてきました。本番では、保護者・地域の皆様の声援を力に変えてもてる力の全てを出し切っていました。納得の走り新記録を塗り替えた子供もいれば、納得のいく結果を出せずに涙を流し悔しがらる子供の姿もありました。全ての子供たちから感動と勇気をもらいました。「何事にも一生懸命に取り組む伊唐の子」へ声かけをお願いします。

